



## キャリア教育の神髄

校長 清水 誠

小学校におけるキャリア教育は、具体的な将来設計を立てさせることを目指すものではありません。学級や学校、家庭、地域社会等における様々な活動を通して、将来設計の基盤となる「夢や希望」を育むことが第一の目的です。そのような観点から考えると、すでに小学校低学年の時からキャリア教育が始まっていることが分かります。

先日、2年生が生活科の学習として、町たんけんに出かけました。地域にある商店や施設にご協力をいただき、16のグループに分かれて見学をしてきました。パン屋に行った子ども達は、コック帽をかぶり、石窯の中で焼けていくパンの様子を見せてもらいました。また、郵便局やコンビニ、ドラッグストアなどでは、友達や近所の家の人々が仕事をしている姿に触れることができました。地域で働く人々の様子について興味・関心をもつということは、生活科の目標であるとともに、キャリア教育の目指すところでもあります。

一方、6年生は、直接様々な職業に就いている方々から話を聞く機会をもちました。以前、PTAおやじの会の皆さんに話をしたことがきっかけとなり、実現に至った取り組みです。田柄小おやじの会の組織力を生かし、企画から当日の運営を含め、素晴らしい授業の場を提供していただきました。子ども達は、消防士、保育士、IT関連、公務員、看護師、自動車関連と6つのブースに分かれ、それぞれの職種の方々から直接話を聞くことができました。

保育士のブースには、いつも連携している近隣の保育園の園長先生にお越しいただきました。最初に話されたのは、「私の仕事は、子どもの命を守ることです。」という言葉でした。そして、園児への接し方や、普段の保育で気をつけていることなどを伝えていただきました。おやじの会の皆さんは、日頃様々な職種に就いているお父さん達です。当日、自らブースに入り、講師を担当された方々もいらっしゃいました。おそろいのTシャツを着て揚げパンを作ったり、各イベントで子ども達とかかわったりする姿が印象に残ります。しかし、そんな友達のお父さんが自分の仕事について熱く語っている姿は、6年生の子ども達にとって輝く社会人として映ったはずです。

当日は、どのブースでも仕事内容の説明だけではなく、仕事をするうえでの喜びや苦労まで、6年生に希望をもたせるように語りかけていただきました。食い入るように話を聞いていた子ども達に、保育園の園長先生は、最後にこうはっきりと話をされました。「私は、この仕事に就いて本当に良かったと思います。」・・・こういう姿勢を子ども達に見せることこそ、キャリア教育の神髄であると感じました。

# ～子ども達の



## 大根の収穫（10/31）

3年

吉田茂雄さんの畑で、大根の収穫体験をさせていただきました。総合の「大根を育てよう」という学習では、9月に大根の種まき、間引きをしてきました。米粒くらいに小さかった大根の種から、緑の葉がたくさん茂り、立派な大根になっていました。よく、スーパーなどで売っている大根は、小さく小分けして売られていたり、葉が切られたりしていて、子どもたちは実際の大根を見る機会が少なかったようです。当日畑に行って、大根を抜こうとしてもなかなか抜けず、「うんとこしょ、どっこいしょ。」と言いながら頑張っていました。農家の方の苦勞を感じることができた貴重な体験になりました。



## かぶの種まき（11/6）

4年

吉田茂雄さんの畑で、かぶの種まき体験をさせていただきました。今までと異なり、土づくりからの体験でした。まず、馬の寝床に使っていた糞から作ったたい肥を、グループで分担して運びました。初めは戸惑っていましたが、湯気が立つ肥料を触って「温かいね」、「ふかふかだ」と徐々に慣れる子どもたち。新しいものに順応する早さは、子どものすてきなところだと感じます。振り返りでは、どうして吉田さんは農業体験をさせてくれると思うか聞いてみました。「農業に興味をもってもらいたいから」、「おいしい野菜で笑顔にしたいから」など、地域から温かく見守ってくださる吉田さんの思いを想像することができました。



## キャリア教育（11/9）

6年

6年生は、総合的な学習の時間に「自分の未来を見つめよう」という学習を行いました。PTAおやじの会をはじめとした多くの方々に講師をしていただき、「消防士」、「IT 関連」、「公務員」、「保育士」、「自動車」、「看護師」の6つの仕事について、お話を伺いました。

あまり知らなかった職業のことを知ることができたり、興味があった職業についてさらに関心を深めたりすることができました。また、今回の学習を通して、「何のために働くのか」、「仕事のやりがいは何か」ということについても考えることができました。

3学期には、自分の興味のある職業についてさらに詳しく調べていき、学習を深めていく予定です。



# 学校生活 ～

## おなか元気教室（11/9）

1年

京北ヤクルト販売株式会社の方による出前授業を行いました。スライドや模型などを使って、腸のはたらき、生活リズム、おなかの中に住んでいる菌のことなどを分かりやすく教えていただきました。小腸の模型を伸ばしてみると6mもあることや、おなかの中にはおよそ100兆個もの菌が住んでいるということなど、いろいろなことを知り、子供たちはとても驚いていました。

おなかの調子を整え、元気に過ごすために、「朝うんちができるように早起きをする」「朝ごはんをしっかり食べる」など、大事なことを再確認することができました。



## 町たんけん（11/12）

2年

生活科の学習で、田柄のまちにある施設やお店の見学に行きました。事前に下見をし、見学時のあいさつやインタビューの仕方を学習しました。当日は、商品を見たり施設を見学したりする中で、知りたいことについて意欲的に質問をすることができました。見学の後には、早速お礼のお手紙を書き、届ける活動もしました。

今後は、調べたことを伝えるために、各グループで発表の準備をしていきます。3クラス合同の発表会を予定しています。

16のお店、施設にご協力をいただきました。また、当日の引率には、多くの保護者の方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。



## 部活動体験（11/26）

6年

11月26日（火）に、田柄中学校へ部活動体験に行きました。実際の中学校の様子を見たり体験したりすることで、来年度から始まる中学校生活の不安をなくし、よりよいスタートを切ることをねらいとしています。

当日は事前に希望した2つの部活動を30分ずつ体験しました。中学生が丁寧に教えてくれて、普段通りの練習に参加させてもらえました。興味深く取り組む6年生と中学生の礼儀正しいあいさつが印象的でした。初めは緊張していた6年生でしたが、体験を進めていくうちに少しずつ笑顔が見られ、充実した時間を過ごすことができました。中学校生活の中で、部活動は多くの時間を費やします。進学する中学校の部活動について考えるよい機会となりました。





日	曜	12月の行事予定
1	日	開校記念日
2	月	全校朝会 社会科見学(6)
5	水	安全指導 社会科見学(3)
6	金	あすチャレンジアガミ-(4~6年) 委員会活動
9	月	全校朝会 あいさつ運動(4)
10	火	避難訓練
12	木	たてわり班活動
13	金	クラブ活動
14	土	土曜授業公開日(B時程4時間授業) 持久走記録会
16	月	全校朝会(持久走記録会閉会式)
17	火	元気アップタイム
19	木	連合音楽鑑賞教室(5)
20	金	クラブ活動
23	月	移動教室保護者説明会(5)
25	水	終業式
26	木	冬季休業日開始
<hr/>		
7	火	冬季休業日終
8	水	始業式 安全指導

## けやきルームより

けやきルーム

日頃、けやきルームの指導にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

コミュニケーションが苦手な友達関係がつくりにくい、一つのことにとこだわるとなかなか気持ちの転換ができないなど、子供たちはそれぞれいろいろな苦手なことをもっています。

けやきルームでは、自分を深く知り、友達や周りの人とかかわりあう力を伸ばすための学習をしています。

けやきでの指導は一人あたり週1回2時間です。(行事等で指導できない日もあります。)その子に合わせて、充実した指導ができるように、教員一同協力して取り組んでいます。

子供たちが楽しく学校生活が送れるように今後もがんばってまいりますのでよろしくお祈りいたします。

## お知らせ

副校長

オリンピック・パラリンピック教育として、今年度は2回講師の方からご指導をいただけます。

10月は、車いす陸上で活躍した方をお招きして、4年生が指導を受けました。今回は、パラアイスホッケーとパラパワーリフティングで活躍している講師をお招きして、4~6年生に講話と体験の指導をしていただきます。ご覧になりたい方がいらっしゃいましたら、以前に配布した申し込み書をご提出ください。

日時 12月6日(金) 3・4校時

対象 4~6年生児童

場所 体育館

## 12月の生活指導目標 「学校をきれいにしよう」

生活指導部

11月に行われたクリーン運動では、子ども達が校庭や愛宕神社の落ち葉拾いに熱心に取り組みました。きれいになった地面を見て、「すっきりした!」と気持ちよさを感じている子もいました。身の回りがきれいになると、心も清々しい気持ちになるということが実感できるように、学校でも清掃指導をしていきます。ご家庭でも、年末に大掃除をされることと思います。家族の一員として、進んで片付けをしたお子さんを褒めたり、一緒に掃除に取り組んだりしてみてください。部屋だけでなく、心もぴかぴかの新年をお子さんと一緒に迎えることができたなら、来年もすてきな一年になりそうですね。